

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年4月19日のビデオメッセージ（要約）>

新型コロナウイルス感染症のワクチン開発のために多くの人々が働いています。世界中の人々が社会的隔離をする中、インターネットの映画視聴が最高数に達しています。世界中の人が感染予防のために石鹸で手を20秒洗うよう奨励されています。私も20秒数えながら手を洗っていました。でも、20秒数える代わりに、今日一日で一番感謝できることは何かを考えながら手を洗ったらどうだろう、と思いつきました。そこで、感謝すべきことを考えながら手を洗っていたら、詩編23編の言葉が心に浮かんできたのです。ダビデがこの詩編を書いたのは、安全な王宮の中ではありませんでした。ダビデは敵に命を狙われ、暗い洞穴の中に身を隠していた時に、詩編23編を書いたのです。ダビデは大きな危険の中にありましたが、神様の守りの御手の中に自分をゆだねました。みなさんも今、社会的隔離をしながら過ごす時に、自分は洞穴のような暗闇の中にいる、と感じておられるかもしれません。しかし、自分の手を20秒間洗うときに、ぜひ、この詩編23編を思い出していただきたいのです。特に「主は私の羊飼い」という言葉のところに、あなた自身の名前を入れて、唱えてみてください。たとえどんなに暗い状況の中にあっても、イエス様ご自身があなたの羊飼いであることを、忘れないでください。